

## 若者よ、よいサウンドを聴こう！

若者のオーディオ離れが言われてから久しいのであります。

オーディオはほとんどオジサンの趣味と化し、元々女性からは見向きもされなかったし、若者からも愛想を尽かされてしまった。

しかしこれでは困るのであります。当社の商売もあがったりになってしまう。

かつてのあのオーディオブーム、オーディオ全盛期の熱気は一体何処へ行ってしまったのか。いや、そもそもあの時代、私共は何故なけなしのお金をオーディオに投じたのか？

改めて考えてみると、聴きたい音楽が沢山あったからということはいえると思います。

そのためにはオーディオという道具立てがどうしても必要でした。

アナログの時代でしたので、音楽ソースの確保という点では、FM放送→FMチューナー→テープデッキもしくはレコード→レコードプレーヤーという具合でした。

そこから先は同じで、アンプ→スピーカーとなります。

さて、今はどうでしょう。

現代の若者が音楽を聴いていないわけではなく、聴いているのは **J-Pop** というジャンルが主流。道具立てはシステムコンポと携帯プレーヤーといったところでしょうか。

携帯プレーヤーの内容は **MP3** 音源かもしれません。数万円、数千円の世界です。

これではオーディオ業界としても困るので、あれこれ無い知恵を絞っています。

例えば、大阪の逸品館さんは「ゼネラル・オーディオ（大衆音楽再生装置）を飛躍的に高音質化する」「iPod を音源にする、低価格高音質の機器を開発（中略）廉価な CD プレーヤーの音質向上」という作戦。

「昨年発売した SA8004/Studio と iPod の組み合わせから出せる音は素晴らしく、音源が MP3(320bps)にも関わらず、従来の CD と変わらないほどの音質が得られます」とのことです。

しかし、SA8004/Studio という機器を購入しなければならないところに敷居の高さを感じます。

注) 当然、アンプとスピーカーが別途必要です。

また、最新の「季刊・オーディオアクセサリ-2011 SPRING 140」に「Net Audio 導入プロジェクト」という記事が掲載されていますが、この記事を担当されている評論家の方々はいずれもハイエンド・オーディオのサウンドを熟知されていますので、携帯プレーヤー(MP3)の世界とはギャップがあり過ぎます。

そもそもフツウの人は「季刊・オーディオアクセサリ-」などという完全にマニア向けの雑誌を読むことはないでしょう。

もう少し現実的でうまい方法はないものでしょうか。

携帯プレーヤー(MP3)と本格的なサウンドを出すオーディオとの橋渡しをしてくれるようなやり方・システムです。

当社の提案は次のようなことになります。

まず、携帯プレーヤーを iPod としますと、ほぼ間違いなく iPod とセットで PC には iTunes がインストールされているはずです。

昨年 10 月に東電が TEPORE というサイトで発表した「音楽を聴いていますか？」というアンケート調査(有効回答数 59,379 人(男性 34,870 人・女性 24,509 人))によりますと、音楽を聴く道具立てとしてはパソコンが第 1 位で 39.4%なのです。

こうなると、パソコン(+iTunes)をベースにして作戦を考えることがよさそうです。

まずは iTunes の高音質化です。

iTunes は、そのままでは ASIO 出力に対応出来ませんが、iTunes の Multi-Plugin の「foobar2000 passthrough」という機能を使えば iTunes の再生に foobar2000 の再生エンジンを使えるようになるそうです。

注) foobar2000 には元々 ASIO 出力が備わっています。

詳しくは <http://ta2020.huuryuu.com/MultiPlugin.html> をご覧下さい。

これで PC から、音源が CD だろうと MP3 だろうと ASIO 出力で信号が出てきます。

ここで、途中をちょいと飛ばして、アンプとスピーカーをどうするか考えます。

見た目も金額も軽いものでなくてはなりません。しかし音質が良くなくてはダメです。ここでは小型 SP として、デジタルアンプを内蔵した BOSE の M2 を選択します。ちょっと見はありふれた PC 用スピーカーですが、「ハイパーレゾネータ」という仕掛けのおかげで、下は 60Hz までちゃんと出ています（実測値）。定価は¥39,480 ですが、市場では¥35,000 前後で入手可能です。

さて、最後はこの M2 と PC の USB 出力をどう繋げるか？です。せっかく PC から質の良い音楽信号が出ていますので、小型で性能が良く安価な DAC (Digital to Analogue Converter) を使用します。

当社が音の測定システムでも使用している、韓国 Styleaudio 社の CARAT-PERIDOT は如何でしょうか。Gmarket で¥15,300 です。これは本来ヘッドフォンアンプですが、RCA 出力端子がありますので、ここから信号を M2 へ送ってやります（ただし M2 側はミニ端子）。

これで目出度し、簡単 PC オーディオシステムが出来ました。

とにもかくにも、まずはこの装置でいつも聴かれている音楽を聴いてみて下さい。

投入金額は  $35,000 + 15,000 = 48,300$  円となりますが、M2 も CARAT-PERIDOT もいわゆる「使い回し」が出来ます。将来、より高度なオーディオ装置を導入しても決して無駄にはなりません。

以上